

# 第1回四国圏広域地方計画学識者会議

## 議事要旨

### 1. 日時

平成27年2月19日（木）

### 2. 場所

高松商工会議所 4階 401会議室

### 3. 出席委員

柏谷座長、近藤座長代理、植田委員、大南委員、垣内委員、川田委員、坂本委員、鈴木委員、高嶋委員、豊田委員、中矢委員

### 4. 議事

- 1) 四国圏広域地方計画の骨子（案）について
- 2) その他

### 主な発言内容（分野別）

#### 1) 開会挨拶

会議冒頭、柏谷座長よりあいさつ

#### 2) 議題

##### 1) 四国圏広域地方計画の骨子（案）について

骨子（案）について事務局から説明。その後、意見交換が行われた。  
各委員から出た主な意見は以下のとおり。

### <産業>

- ・産学連携を進めていくべき
- ・量の拡大から、質の向上への転換が求められている
- ・新たな技術を注入することでイノベーションが起こる
- ・地域にある既存の産業を活性化していくことが必要
- ・一人一人が高い生産と生活を維持できれば心配ない

- ・木材の加工基盤を強化していくべき
- ・中山間地域の多様な働き方やビジネスモデルで、農林業だけに頼らないこと
- ・観光は成長産業なので注力していくべきだろう

#### <人材育成>

- ・大学の研究機能を強化し技術の進化を促すべき
- ・人材を育成しイノベーションにつながる連携を促す政策が求められる
- ・大卒の多くの都会流出で地方の人材の劣化が進むことを懸念

#### <遍路>

- ・お遍路は絶対にやっていかなければならないし、つながっていく仕組みがあると良い
- ・「癒やし」の実現は非常に注目すべきことで、実現にお遍路をどのように活かしていくか
- ・遍路の道の整備が望まれる、健康づくりの心の健康に繋がる
- ・お遍路を観光でくくると非常に無理がある

#### <個性、ユニーク>

- ・四国の個性、ユニークさを計画の前面に打ち出していくべき
- ・積極的にユニークさを磨いていく発想があれば良い
- ・個性的、ユニーク、特徴等がキーワード
- ・多様性に富む四国を1つにするのは難しいが、細部については多様性を許容し、一つのスローガンの下に1つになるという方法が適している

#### <その他> :

- ・四国が一つになり連携することで魅力を発信していくべき
- ・四国全体を面にする仕組みを作ることが重要
- ・計画が成果をあげるためには分野間連携が必要
- ・計画をみなさんに広く知ってもらうことが大事
- ・計画を早く作り推進させることで効果を発現することが必要
- ・規制緩和などの施策を進めるべき
- ・「文化」を前面に打ち出すべき
- ・四国を連携で一つにするためには、インフラ不足の解消が必要
- ・高齢者がどのように活躍しコミュニティを守っていくか、を考えるべき